

お知らせ

2021年11月30日
九州電力株式会社**玄海原子力発電所3号機の1次冷却材中よう素濃度の監視強化を実施します**

玄海原子力発電所3号機（加圧水型軽水炉、定格電気出力118万キロワット）は、通常運転中のところ、本日、燃料集合体の健全性を確認するため、定期的に測定している1次冷却材中のよう素濃度が、これまでの値に比べ若干上昇したことが認められました。

よう素濃度は、保安規定の運転上の制限値を十分下回っており、運転継続に安全上の問題はありますが、監視強化を行い万全を期すこととしました。

なお、本事象による環境への放射能の影響はありません。

（参考）

○1次冷却材中のよう素濃度

- ・11月30日の測定値 : 0.74 Bq / cm³
 - ・11月29日迄の測定値 : 0.11 Bq / cm³程度
- （保安規定のよう素濃度制限値 : 63,000 Bq / cm³）

以 上